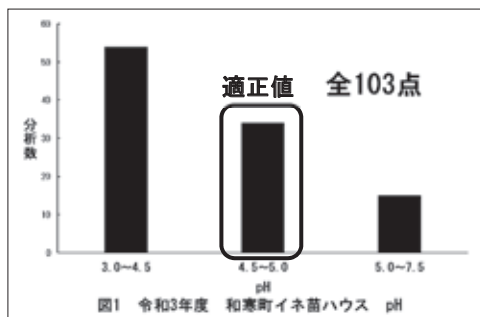


和寒町農業活性化センターからのお知らせ

イネの苗と土づくり —pH（ピーエイチ）・リン酸—

● pH とイネの苗

米や野菜を作るには、土づくりが大切です。イネの苗土は pH に気をつけなければなりません。pH とは土が酸性か、アルカリ性かの程度を数字で表したものです。pH は 7 を中性として、7 より低いと酸性、高いとアルカリ性を示します。多くの作物は、弱い酸性である pH6.0 ~ pH6.5 の土で良く育ちますが、イネの苗を育てるには、pH4.5 ~ 5.0 の土が良いとされています。その理由は pH5.0 以上の土でイネを育てた場合、「ムレ苗」という症状が起こり、苗の段階で突然枯れることがあるためです。カルシウム（石灰）は土をアルカリ性に変化させます。イネの苗づくりでは pH を 4.5 ~ 5.0 に保つために、カルシウムを土に入れないことが多いです。このため pH4.5 より低いハウスが多くなっています（図 1）。pH4.5 より低くなると、土の中のアルミニウムによって、根が伸びなくなって苗の育ちが悪くなります。



● pH を調整する

はじめてイネの苗づくりをするハウスでは、pH5.0 を超えることがほとんどです。「ムレ苗」が発生しやすく、pH を下げる必要があります。pH を下げるには、硫黄を土に入れます。pH を目的の数字まで変化させるには日数が必要なので、前年の秋に硫黄を入れましょう。

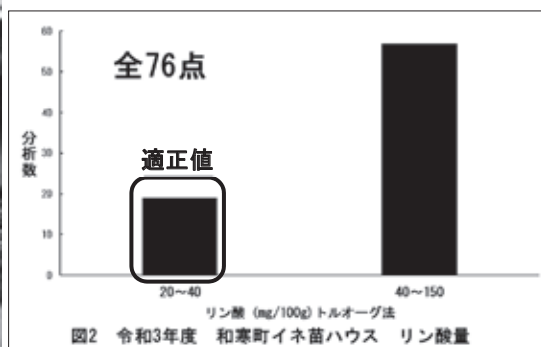
同じビニールハウスでも、土の pH が違う場合もあります。イネの苗づくりが終わったハウスに、土づくりのため「エンバク」を植えると、場所によっては枯れることがあります。この枯れた場所をスケッチのように地図を作ると、ハウス土壌 pH の把握に参考となります。

● pH の低いハウスでは「リン酸」が多く含まれている可能性がある

pH の低いイネの苗づくり用ハウスでは、作物に必要な栄養素であるリン酸が、たくさん土に入っ



写真1 水稻苗のリン酸過剰症
(写真提供：立浪 直剛氏)



ている場合があります（図 2）。リン酸が土に多すぎると、苗の葉っぱの先が赤茶色に変化する症状が発生します（写真 1）。この症状が発生したときは、リン酸を土に入れる量を減らすとともに、土にマグネシウム（苦土）が少ない場合「硫酸マグネシウム」を入れることもおすすめです。

【和寒町農業活性化センター 農業専門支援員 横井 義雄 技師 大村 光平】

お問合せは 和寒町農業活性化センター（TEL32-2010）まで